

平成 26 年度 事業報告

自:平成 26 年 4 月 1 日 至:平成 27 年 3 月 31 日

I. 事業方針

昨年 6 月の総会において確認した以下の事業方針にそって、平成 26 年度の事業を推進した。

「アイスクリームでみんな笑顔に」をスローガンに、「アイスクリームのおいしさ・楽しさをお客様に伝え、アイスクリームファンを増やすこと」を使命として事業を推進する。

- (1) アイスクリームの衛生、品質の向上を最重要課題として取り組む。さらに、公正取引協議会と協働して表示の適正化を推進する。
- (2) アイスクリームのおいしさ・楽しさを広くお客様に伝え、需要の拡大を図る。合わせて、品質や安全にかかわる情報を適宜提供し、お客様の安全、安心に応える。
- (3) 持続可能な環境保全型社会に貢献できるよう、環境に関する諸課題に取り組む。
- (4) 法令改正や社会環境の変化等に対応し、関係機関・団体と連携して会員企業に迅速に情報を提供する。

II. 事業ごとの内容

1. 衛生及び品質の向上について

1-1. 食品衛生、品質管理技術の向上について

(1) 検査技術研修会及び製造管理技術研修会の実施【資料1】

- ① 日本乳業技術協会によるアイスクリームの成分的品質特性、衛生的品質特性に関する検査法を習得する「アイスクリーム検査技術研修会」を開催(12 月、2 月)、会員の製品検査技術の向上を図った。



<成分的品質特性研修>



<衛生的品質特性研修>



<アイスクリーム協会・協議会概要>

- ② 関連団体主催の研修会を斡旋し、衛生管理技術の普及・向上を図った。【資料1】

- ・官能評価員育成研修会
- ・牛乳微生物講習会
- ・HACCP 管理者養成講習会等

(2) 地区協会活動との連携【資料 2】

- ① 地区協会において講習会、施設見学会を行い、会員の衛生意識の向上を図った。
- ② 定常的検査が取りづらい会員に重点を置いて、製品の細菌自主検査を実施した。
(5 地区協会で実施)

(3) 衛生功労者の表彰

昨年 12 月 10 日の選考委員会においてアイスクリーム類の衛生・品質の向上に尽力された方 18 名を選考し、1 月 22 日第 39 回アイスクリーム類製造業衛生功労者表彰式において、表彰した。

1-2. 表示の適正化推進について

- (1) 電子メール、電話等による問い合わせに対し、表示に関する正しい情報を提供した
- (2) 地区協会及び公正取引協議会共催による表示自主検査会及び表示技術セミナーを開催し、表示の適正化に努めた。
 - ① 表示自主検査会：北海道地区、東北・関東地区、近畿地区の 3 か所
 - ② 表示技術セミナー：東海地区、九州地区及び賛助会(関東地区)3 か所で実施した。

2. 消費拡大、PR について

(1) アイスクリームフェスタの開催

「アイスクリームの日」制定 50 周年を記念し、5~6 月に本部企画として、関東、名古屋、大阪、広島、福岡の 5 か所、地区協会企画として札幌、仙台、金沢、計 8 か所でアイスクリームのプレゼントを含む、お祭りを実施した。アイスクリームの歌、ダンス DVD の放映、アイスクリーム王子、ご当地ゆるキャラ、ご当地アイドルの出演により、イベントを盛り上げた。

5 月 6 日	仙台市	ぶらんどーむ商店街
5 月 9 日	金沢市	名鉄エムザ前
5 月 10 日	福岡市	福岡三越ライオン広場
5 月 11 日	東京都	サンシャインシティー噴水広場
5 月 17 日	名古屋市	名鉄百貨店前
5 月 18 日	大阪市	ディアモール大阪ディーズスクエア
5 月 24 日	広島市	紙屋町シャレオ地下中央広場
6 月 14 日	札幌市	サッポロファクトリー



東京都「サンシャインシティー噴水広場」



広島市「紙屋町シャレオ地下中央広場」

(2) ウェブコミュニケーションの改善

- ① 昨年 4 月協会フェイスブックスタート。アイスクリームに関連した様々な情報を発信・拡散させ、アイスクリームファンを獲得している。



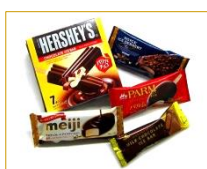
<アイスフェスタ関連>



<アイスのトリビア>



<テーマ別商品紹介>



<会員企業の活動>

- ② 昨年 6 月ホームページの全面改修を行い、ユーザーが利用しやすくなった。



(3) 協会創立 50 周年に向けた記念事業の実施

- ・アイスクリームのマーケティングに関する図書を出版し、PR に活用する。

<2015 年 3 月 19 日発刊>

- ・2014 年 8 月「記念本制作準備委員会」発足。制作に向けた準備を進めた。



3. 知識の普及・PR について

(1) 新たな小冊子の制作

幅広い層にアイスクリームの魅力を伝えるため、内容を平易なものとしアイスクリーム王子をナビゲータにして親しみやすく、分かりやすいものとする。

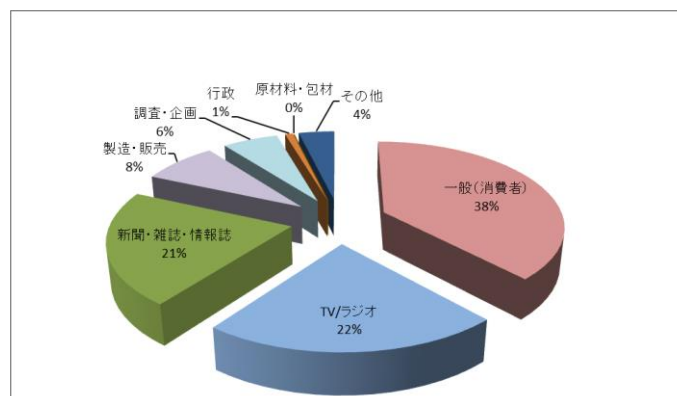
<2014 年 4 月発刊>



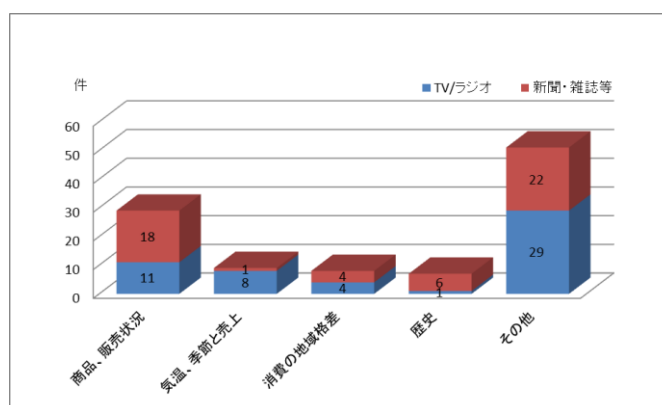
(2) お客様、マスコミなどからの問い合わせ、取材への対応

電話、電子メールによる問い合わせやマスコミの取材に対応し、アイスクリームのPRに努めた。平成 26 年度の問い合わせは 239 件、昨年同時期 112%と増加した。今年もテレビ局、新聞・雑誌、情報誌等マスメディアからの問い合わせは 4 割強であった。

① 問合せ内訳: 表示を除く 239 件の内訳



② マスメディアからの主な問合せ内容: 104 件の内訳



(3) 講演会の開催

10月9日、第41回 JICA フォーラムを開催。会員 26 社(65 名)、賛助会員 15 社(26 名)、専門誌 18 社(21 名)合計 112 名の参加があった。

演題・講師は以下の通り。

① 『スーパーマーケットの動向とアイスクリームについて』—もの離れ時代の成長戦略—
コーネル大学 リテール・マネジメント・プログラム・オブ・ジャパン プログラム・ディレクター
大塚 明氏



② 『食品衛生をめぐる最近の動向について』—HACCP は“とる”ものではなく、“やる”もの—
厚生労働省医薬食品局食品安全部 監視安全課長 滝本 浩司氏



(4) アイスクリームニュース(季刊)の発行

No.248号～No.251号の4回発行した。No.249の夏号からは、デザイン・企画を一新し、季節ごとに表紙の色を変え、季節感を出し、読みやすくした。



<夏>



<秋>



<冬>



<春>

(5) 統計資料の作成

① 2013年度(平成25年度)の「アイスクリーム類及び氷菓販売実績」「アイスクリーム類家計調査支出実績」及び「アイスクリーム類輸入実績」を作成し、ホームページ、アイスクリームニュース等で発表した。

② アイスクリーム白書2014、昨年11月に調査を実施。1月末にHP掲載した。

4. 環境に関する取組みについて

9月に2013年度自主行動計画実績をプラスチック容器包装リサイクル推進協議会に報告した。

5. 社会貢献活動について【資料2】

「5月9日アイスクリームの日」を中心に地区協会より社会福祉施設にアイスクリームの寄贈を行った。寄贈施設は425施設、寄贈数は51,582個。

6. その他

(1) 中学校・高校企業訪問対応(乳業会館)



<11/12 鮭川中学校 5名>



<11/13 最上中学校 6名>



<12/1 広島新庄学園高校 12名>

(2) 総会、各種会議の開催

- ① 理事会(6月3日、1月22日)
- ② 定時総会(6月3日)
- ③ 全国事務局長会議開催(9月5日)
- ④ 衛生功労者表彰選考委員会(12月10日)
- ⑤ 第39回衛生功労者表彰式・祝賀会(1月22日)
- ⑥ 消費拡大委員会(6月12日、8月27日、11月14日、1月28日)
- ⑦ SNS検討委員会(7月11日)

(3) 地区協会総会出席

北海道協会(4月21日)、東北協会(5月30日)、北関東協会(4月17日)
関東協会(4月22日)、東海協会(4月23日)、近畿協会(5月27日)
中国協会(5月16日)、九州協会(4月22日)

【資料1】 検査技術研修会等の実施

- (1) アイスクリーム検査技術研修会
平成26年12月15～17日 12名参加、平成26年2月2～4日 9名参加
- (2) 官能評価員育成研修会(日本乳業協会主催)
平成26年7～10月まで3回開催 4名参加
- (3) 牛乳微生物講習会(日本乳業協会主催)
平成26年10～11月 11名参加
- (4) 製造管理技術研修
HACCPシステム導入を目指して(日本食品衛生協会主催)
平成26年5月29日 2名参加

【資料2】 平成26年度本部・地区協会の活動内容

別紙一覧表参照

平成 27 年度事業計画

I. 事業方針

以下の事業方針にそって、平成 27 年度の事業を推進する。

- (1) アイスクリームの衛生、品質の向上を最重要課題として取り組む。さらに、公正取引協議会と協働して表示の適正化を推進する。
- (2) アイスクリームのおいしさ・楽しさを広く一般にPRし、需要の拡大を図る。合わせて、品質や安全にかかわる情報を適宜提供し、お客様の安全、安心に応える。
- (3) 持続可能な環境保全型社会に貢献できるよう、環境に関する諸課題に取り組む。
- (4) 法令改正や社会環境の変化等に対応し、関係機関・団体と連携して会員企業に迅速に情報を提供する。

II. 事業ごとの内容

1. 衛生及び品質の向上について

1-1. 食品衛生、品質管理技術の向上について

- (1) 検査技術研修会及び製造管理技術研修会の実施
アイスクリーム類の検査技術研修会を実施するとともに、関連団体主催の品質及び製造管理技術研修会を積極的に斡旋し、会員企業の管理技術の向上を図る。
- (2) 地区協会活動との連携
 - ① 講演会や施設見学会等を開催し、会員企業のアイスクリームに関する衛生品質の向上、改善に役立てる。
 - ② 定常的検査体制が取りづらい会員企業に重点をおいて、製品細菌自主検査を実施する。
- (3) 衛生功労者の表彰
衛生、品質の向上に尽力された功績に報いるため、衛生功労者を表彰する。

1-2. 表示の適正化推進について

- (1) アイスクリーム類及び氷菓公正取引協議会と協働して、アイスクリーム製造者・販売者、行政、マスコミ、お客様からの問合せに対し、表示に関する正しい情報を提供する。
- (2) 地区協会、公正取引協議会支部と共催で表示自主検査会、表示技術セミナーを開催し、表示の適正化に努める。

2. 消費拡大、PRについて

(1) アイスクリームフェスタの開催

「5月9日アイスクリームの日」を中心に、全国8か所でアイスクリームのプレゼントを含む、お祭りを実施する。

(2) ウェブコミュニケーションの活用

① フェイスブックを活用し、アイスクリームに関連した様々な情報を発信・拡散させ、アイスクリームファンを獲得する。

② ホームページとフェイスブックの連動性を持たせ、アクセスを増やし、アイスクリームの価値を訴求する。

(3) 2016年協会創立50周年に向けた記念事業の準備。【資料3】

①アイスクリーム記念本の制作を行う。

②記念式典・記念講演・祝賀会の準備を行う。

3. 知識の普及・PRについて

(1) お客様、マスコミなどからの問い合わせ対応

電話、メール、取材などを通じた、アイスクリームに関するトピックス、科学、歴史、統計など種々の問合せに対応し、アイスクリームのPRに努める。

(2) 講演会の開催

JICAフォーラムを開催し、アイスクリームに関する衛生や品質、表示、マーケティングに関する最新情報の提供に努める。

(3) アイスクリームニュース(季刊)の発行

(4) 統計資料の作成

2014年度(平成26年度)の販売実績、家計調査支出実績、輸入実績を作成する。

4. 環境に関する取組みについて

容器包装リサイクル法への対応を中心に環境に関する諸課題に関して、適宜、環境委員会を開催して問題を解決していく。

5. 社会貢献活動について

「アイスクリームの日」を中心に、各地区協会を通じて全国の社会福祉施設等にアイスクリームを寄贈する。

6. その他

第5回定時総会 平成28年6月 (理事会を同時開催する)